

## 平成 27 年度 草津市立クリーンセンター一年間報告書

平成 27 年度のクリーンセンターへ搬入されたごみ量や運転状況等を中心に報告書として以下のとおりまとめた。

### 1 ごみの搬入量

平成 27 年度にクリーンセンターへ搬入されたごみ量は 37,873.39t で、平成 26 年度の 38,209.54t と比較すると、0.88%の減となった。

内訳を見ると家庭系ごみは 0.28%の増、事業系ごみは 2.92%の減であった。

#### 【ごみ搬入量】

		平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
年 間	合 計	37,873.39t	38,209.54t	▲0.88%
	家庭系	24,402.13t	24,333.48t	0.28%
	事業系	13,471.26t	13,876.06t	▲2.92%

#### 【市民 1 人 1 日当たりのごみ量】

市民 1 人一日当たりのごみ量を昨年度と比較すると 2.25%の減となった。

平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
796 g	814 g	▲2.25%

\*参考\*

(国の定義に合わせた 1 人 1 日当りのごみ排出量)

国の定義に合わせ、資源回収量（集団回収）を含めた 1 人 1 日当りのごみ排出量を算出すると、次のとおりとなる。

1 人 1 日当りのごみ排出量 = (37,873 + 4,146) t / 130,048 人 (住基人口 H27 年 10 月 1 日) / 366 日 × 1000 × 1000 = 883g / 人・日 (平成 27 年度)

(国の定義に合わせた平成 26 年度の実績)

1 人 1 日当りのごみ排出量 (g / 人・日)	全 国	滋賀県	草津市
	947	851	907

※ 環境省ホームページのデータ

※ 現時点で発表されている環境省の最新データは平成 26 年度のものです

### 【ごみ搬入量の最大月および最小月】

ごみ搬入量が最も多かった月は12月、最も少なかった月は2月であった。  
ごみ種ごとの最大月・最小月は、下記のとおりとなった。

ごみ種	最大月	最小月	ごみ種	最大月	最小月
焼却ごみ	12月	1月	破碎ごみ	12月	2月
プラスチック製容器	6月	10月	電池	12月	7月
空き缶	8月	3月	蛍光管	12月	7月
飲・食料用ガラスびん	8月	2月	粗大ごみ	3月	1月
陶器・ガラス	5月	2月	古紙類	4月	6月
ペットボトル	8月	2月			

### 【収集区域別のごみ量】

	最大	最小
収集区域名	玉川 A	大路 B

### 1-1 焼却ごみ（事業系一般廃棄物含む）

焼却ごみ類の搬入量は32,997.61tで、前年度に比べ1.26%の減となった。

#### 【ごみ搬入量】

	平成27年度	平成26年度	対前年度比
合計	32,997.61t	33,419.76t	▲1.26%
家庭系	19,532.82t	19,555.72t	▲0.12%
事業系	13,464.79t	13,864.04t	▲2.88%

### 1-2 プラスチック製容器類

プラスチック容器類の搬入量は1,034.34tで、前年度に比べ3.45%の減となった。

#### 【ごみ搬入量】

	平成27年度	平成26年度	対前年度比
家庭系	1,034.34t	1,071.33t	▲3.45%

### 1-3 ペットボトル類

ペットボトル類の搬入量は 266.53t で、前年度に比べ 1.31%の減となった。

#### 【ごみ搬入量】

	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
家庭系	266.53t	270.08t	▲1.31%

### 1-4 空き缶類

空き缶類の搬入量は 229.35t で、前年度に比べ 0.12%の増となった。

#### 【ごみ搬入量】

	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
家庭系	229.35t	229.07t	0.12%

### 1-5 飲・食料用ガラスびん類

飲・食料用ガラスびん類の搬入量は 830.42t で、前年度に比べ 0.71%の減となった。

#### 【ごみ搬入量】

	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
家庭系	830.42t	836.37t	▲0.71%

### 1-6 破碎ごみ類

破碎ごみ類の搬入量は 539.59t で、前年度に比べ 20.67%の増となった。

#### 【ごみ搬入量】

	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
家庭系	539.59t	447.18t	20.67%

### 1-7 陶器・ガラス類

陶器・ガラス類の搬入量は 283.57t で、5.83%の増となった。

#### 【ごみ搬入量】

	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
家庭系	283.57t	267.96t	5.83%

### 1-8 古紙類

古紙類の搬入量は 1,307.12t で、1.23%の増となった。

#### 【ごみ搬入量】

		平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
家庭系	古紙類	1,307.12t	1,291.27t	1.23%
	(新聞・広告)	494.10t	503.82t	▲1.93%
	(雑誌・雑紙)	455.03t	449.19t	1.3%
	(段ボール)	357.99t	338.26t	5.83%

### 1-9 乾電池

乾電池の搬入量は 21.74t で、1.45%の減となった。

#### 【ごみ搬入量】

	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
家庭系	21.74t	22.06t	▲1.45%

### 1-10 蛍光管

蛍光管の搬入量は 11.13t で、3.97%の減となった。

#### 【ごみ搬入量】

	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
家庭系	11.13t	11.59t	▲3.97%

## 1-11 粗大ごみ

粗大ごみの搬入量は 351.99t で、前年度と比べ 2.66%の増となった。

### 【粗大ごみ搬入量】

	平成 26 年度	平成 26 年度	対前年度比
合 計	351.99t	342.87t	2.66%
家庭系	345.52t	330.85t	4.43%
事業系	6.47t	12.02t	▲46.17%

### 【粗大ごみ搬入点数】

	収集	持込	不法投棄	合計
平成 27 年度	16,856 点	6,602 点	426 点	23,884 点

### 【搬入点数の多かったもの（500 点以上）】

ふとん・毛布 (3,350 点)、椅子・ソファ (2,764 点)、じゅうたん・カーペット (1,188 点)、テーブル (987 点)、タンス (935 点)、ベッド (877 点)、衣装ケース (673 点)、自転車 (629 点)

## 2 ごみの再資源化

平成 27 年度にクリーンセンターで再資源化したごみの量は 3,880.87t であった。

### 【クリーンセンターでのごみの再資源化量】

	再資源化量
平成 27 年度	3,880.87t
平成 26 年度	3,808.77t

注) 町内会等が実施している資源回収分は、含まず。

### 【町内会等が実施している資源回収分を含むごみの再資源化量】

	クリーンセンターに おける再資源化量	町内会等が実施した 資源回収分	総再資源化量
平成 27 年度	3,880.87t	4,145.97t	8,026.84t
平成 26 年度	3,808.77t	4,365.76t	8,174.53t

### 【総ごみ量と総再資源化量】

	総ごみ量	総再資源化量
平成 27 年度	42,019.36t	8,026.84t
平成 26 年度	42,575.30t	8,174.53t

※総ごみ量＝クリーンセンター搬入ごみ量＋資源回収量

町内会等が実施している資源回収分を含めた再資源化率は、下記のとおりとなる。

### 【ごみ再資源化率】

	平成 27 年度	平成 26 年度
再資源化率	19.1%	19.2%

※第 5 次草津市総合計画における平成 27 年度の達成目標 23.0%

\*参考\* 平成 26 年度の全国平均 20.6%、滋賀県平均 21.0% (環境省発表)

※現時点で発表されている環境省の最新データは平成 26 年度のものです

## 2-1 金属

空き缶類や破碎ごみ類、粗大ごみから出た金属の再資源化量は次のとおりであった。

### 【再資源化量】

	スチール	アルミ	くず鉄	粗大くず	電線・モーター	合計
平成 27 年度	135.42t	83.71t	180.81t	117.05t	13.07t	530.06t
平成 26 年度	146.61t	78.94t	152.96t	95.79t	11.10t	485.40t

※金属類の買受業者に譲渡し、再資源化

## 2-2 びん類

飲・食料用びん類の再資源化量は、次のとおりであった。

### 【再資源化量】

	透明	茶色	その他	合計
平成 27 年度	412.22t	235.42t	159.24t	806.88t
平成 26 年度	395.14t	230.20t	142.96t	768.30t

※びんのカレット工場に譲渡し、再資源化

## 2-3 プラスチック、ペットボトル

容器包装プラスチック、ペットボトル、硬質プラスチックの再資源化量は、次のとおりであった。

### 【再資源化量】

	容器包装プラスチック	ペットボトル	硬質プラスチック
平成 27 年度	946.64t	249.66t	0t
平成 26 年度	958.67t	256.07t	12.15t

※容器包装プラスチックとペットボトルは、(公財)日本容器包装リサイクル協会へ引き渡し、再資源化

※硬質プラスチックの再資源化は平成 26 年度をもって終了

## 2-4 乾電池、蛍光管

乾電池、蛍光管の再資源化量は、次のとおりであった。

### 【再資源化量】

	乾電池	蛍光管
平成 27 年度	25.43t	9.91t
平成 26 年度	21.67t	9.42t

※乾電池・蛍光管の処理業者に委託し、再資源化

## 2-5 古紙類

古紙類（新聞・広告、雑誌・雑紙、段ボール）の再資源化量は、次のとおりであった。

### 【再資源化量】

	新聞・広告	雑誌・雑紙	段ボール	合計
平成 27 年度	495.17t	456.64t	360.48t	1,312.29t
平成 26 年度	504.74t	451.63t	340.72t	1,297.09t

※古紙の買受業者に売却し、再資源化

注) 町内会等が実施している資源回収分は、クリーンセンターに搬入されないことから、上記の量には含まれていない。



### 3 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の減量化目標値

平成 27 年度における一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の減量化目標に掲げる数値は、下記のとおりであった。

※ 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の中間目標年次：平成 27 年度

※ 一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の最終目標年次：平成 33 年度

#### 【1 人 1 日当りの家庭系ごみ排出量（資源ごみ除く）】

平成 27 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 33 年度目標値
435 g / 人・日	460 g / 人・日	430 g / 人・日

#### 【1 人 1 日当りに換算した事業系ごみ排出量】

平成 27 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 33 年度目標値
283 g / 人・日	320 g / 人・日	300 g / 人・日

#### 【リサイクル率】

平成 27 年度実績	平成 27 年度目標値	平成 33 年度目標値
19.1%	23%	24%

## 4 環境管理

平成 27 年度における排ガス中のばいじん・硫黄酸化物・窒素酸化物・塩化水素、排ガス・焼却灰中のダイオキシン類の測定結果は、いずれも基準値以下であり、適正に処理されている。

### 4-1 排ガスの測定結果

#### 【排ガス測定結果（年平均）】

	単位	基準値	平成 27 年度	平成 26 年度
ばいじん	g / N m <sup>3</sup>	0.15	<0.010	<0.02
硫黄酸化物	(SO <sub>x</sub> ) K 値	5.00	0.03	0.02
窒素酸化物	(NO <sub>x</sub> ) ppm	250	113	107
塩化水素	(HCl) ppm	430	9	27

### 4-2 ごみ質（焼却ごみ）の調査結果

#### 【ごみ質（年平均）】

	平成 27 年度	平成 26 年度
可燃分	54.2%	58.0%
水分	40.3%	37.5%
灰分	5.6%	4.5%

#### 【組成分析（年平均）】（上記ごみ質の可燃分＋灰分の組成分析）

	平成 27 年度	平成 26 年度
厨芥類	3.3%	4.3%
紙・布	58.4%	57.4%
木・竹・わら類	8.5%	5.6%
プラスチック類	27.2%	29.9%
不燃物類	0.7%	0.6%
その他	1.9%	2.2%

#### 4-3 ダイオキシン類の測定結果

##### 【排ガス中のダイオキシン類測定結果】

	単位	基準値	1号炉	2号炉	3号炉
平成27年度	ng-TEQ/N m <sup>3</sup>	5	0.018	0.035	0.0095
平成26年度			0.021	0.035	0.031

##### 【焼却灰中のダイオキシン類測定結果】

	単位	基準値	1号炉	2号炉	3号炉
平成27年度	ng-TEQ/g	3	0.038	0.042	0.052
			0.0035	0.048	0.023
平成26年度			0.035	0.028	0.023
			0.015	0.035	0.041

##### 【飛灰中のダイオキシン類測定結果】

	単位	飛灰
平成27年度	ng-TEQ/g	0.97
		1.2
		0.59
		0.53
		1.2
平成26年度	ng-TEQ/g	2.2
		1.5
		1.2

※薬剤処理をしているため、飛灰中のダイオキシン類は規制対象外

## 5 見学者

平成 27 年度のクリーンセンター見学者は、市内の小学 4 年生や企業など 31 団体、延べ 1,319 人であった。

### 【クリーンセンター見学者数】

	団体数	人数
平成 27 年度	31	1,319
平成 26 年度	35	1,532

## 6 電力使用量

平成 27 年度のクリーンセンターにおける使用電力量は、下記のとおりであった。

### 【工場棟における年間使用電力量】

	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
使用電力量	3,490,934kwh	3,499,286kwh	▲0.24%

### 【工場棟におけるごみ 1t 当りの使用電力量】

	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
使用電力量	92kwh/t	92kwh/t	0.00%

### 【事務所棟における年間使用電力量】

	平成 27 年度	平成 26 年度	対前年度比
電灯電力量	6,891kwh	6,592kwh	4.54%
動力電力量	6,920kwh	6,495kwh	6.54%

## 7 資料

### 平成27年度 年間報告

クリーンセンターへ搬入された総ごみ量 37,873.39 t

#### 1 搬入ごみ量(内訳)

ごみ種	処理方式	家庭系ごみ		事業系ごみ		合計
		委託搬入	持込搬入	許可業者搬入	持込搬入	
焼却ごみ	焼却	19,355.46	177.36	12,933.10	531.69	32,997.61
プラスチック製容器	資源化	1,033.57	0.77	—	—	1,034.34
ペットボトル	資源化	266.25	0.28	—	—	266.53
空き缶	資源化	228.59	0.76	—	—	229.35
飲・食料用ガラスびん	資源化	829.47	0.95	—	—	830.42
破砕ごみ	破砕	515.70	23.89	—	—	539.59
陶器・ガラス	埋立	275.12	8.45	—	—	283.57
新聞・広告	資源化	493.61	0.49	—	—	494.10
雑誌・雑紙	資源化	451.69	3.34	—	—	455.03
段ボール	資源化	356.09	1.90	—	—	357.99
乾電池	資源化	21.73	0.01	—	—	21.74
蛍光灯	資源化	11.05	0.08	—	—	11.13
粗大ごみ	破砕	248.15	97.37	—	6.47	351.99
合計		24,086.48	315.65	12,933.10	538.16	37,873.39
		24,402.13		13,471.26		

#### 2 最終処分量 (フェニックス埋立量)

(単位: t)						減量率 % 1-埋立量/ごみ量
種類	重量	種類	重量	種類	重量	
灰(焼却灰)	2,868	灰(飛灰)	1,260	不燃物(混ガラ)	310	88.28
最終処分量合計					4,438	

#### 3 再資源化量

種類	内訳					合計
	スチール	アルミ	くず鉄	粗大くず	電線・モーター	
金属	135.42	83.71	180.81	117.05	13.07	530.06
びん類	透明	茶色	その他(青・黒)			806.88
	412.22	235.42	159.24			
容リプラスチック、 ペットボトル、 乾電池、蛍光灯	容リプラスチック	ペットボトル	乾電池	蛍光灯	1,231.64	
	946.64	249.66	25.43	9.91		
古紙	新聞・広告	雑誌・雑紙	段ボール			1,312.29
	495.17	456.64	360.48			
再資源化量合計	3,880.87 t					10.25%
再資源化率% (再資源化量/ごみ量)						

#### 4 薬品等使用量

(単位: kg, kg/t)					
種類	硫酸	凝集助剤	塩化第2鉄	重金属固定剤	消石灰
使用量	12,205	1	3,200	26,586	258,280
対象ごみ1t当り	0.37	0.0000	0.10	0.81	7.83
同上(前年値)	0.28	0.0001	0.08	0.83	7.88

#### 5 重油等使用量

(単位: t, m <sup>3</sup> )						
重油使用場所	1号炉	2号炉	3号炉	合計	上水使用量	2,359m <sup>3</sup>
重油使用量	15,330t	12,770t	13,850t	41,950	下水使用量	2,315m <sup>3</sup>
軽油購入量(場内ショベル用)	2,000t		灯油購入量	1,865t	井水使用量	91,333m <sup>3</sup>
BDF購入量(場内ショベル用)	1,200t	CNG(公用車)		234.4m <sup>3</sup>	ガソリン(草刈機用)	125t

#### 6 電力使用量

工場棟		事務所棟	
電気使用量 kwh	3,490,934	電灯電力使用量 kwh	6,891
日平均使用量 kwh/D	9,538	動力電力使用量 kwh	6,920
最大需用電力 kw	680	日平均使用量 kwh/D	38
ごみ1t当りの使用電力量kwh	92	日平均使用量対前年比	1.05
ごみ1t当りの使用電力量対前年比	1.00		